



谷川俊太郎さん

校長室より

暗唱だより
令和6年4月8日
第三吾孺小学校長
川中子 登志雄

入学・進級おめでとう

令和6年度がスタートしました。入学、進級おめでとうございます。今年度も「自立」「共生」「健康」の学校教育目標に向かって、みんなでがんばっていきましょう！

さて、校長室「暗唱チャレンジ」の取組は、毎年、多くのみなさんが挑戦し、昨年度はグランドスラムを達成した人が日本語課題・66名、英語課題・42名いました。

今、みなさんに取り組んでもらっている暗唱の課題は、人類の財産です。それを声に出して唱えることで、皆さんの頭と心の中に、大切な「ことば」がきざまれていきます。それは、大人になったとき、教養としてにじみ出てくるようになり、みなさんの品格を高めることでしょう。幸い、皆さんの脳はとても新しいので、ものを覚えるのがとても得意なのです。子供のうちに覚えたことは一生忘れません。今年も、ぜひ多くの人に挑戦してもらいたいと思っています。



4月の課題は「春に」



今年度のスタートは、去年の秋に三吾小合唱団が歌っていたのを覚えている人もいるかもしれませんが、詩人・谷川俊太郎さんが「谷川俊太郎少年詩集 どんきん」(1983年)の中で発表された『春に』という詩の一部を暗唱してもらおうと思います。

この詩は、中学校の教科書にも載っているものですが、私は合唱曲『春に』(作曲・木下牧子)を聴いて知りました。この合唱曲は、大変素晴らしい作品で、この詩のイメージを見事に音楽で表現しています。またいつか、合唱団の人たちに歌ってもらいたいなと思っています。

春は、寒く、冷たく、暗い冬の時期をじっとがまんしていた「いのち」が、一斉に目覚

める時です。そんないのちのほとばしる様子が、この詩には本当によく表現されていて、感動するとともに、びっくりさせられます。「この気もちはなんだろう？」と、何度も自分自身に問いかけるこの詩の主人公のよろこびが、皆

春に

谷川俊太郎

この気もちはなんだろう
目に見えないエネルギーの流れが
大地からあしのうらを伝わって
ぼくの腹へ胸へそうつとこみあげる
声にならないさけびとなってこみあげる
この気もちはなんだろう
枝の先のふくらんだ新芽が心をつつく
よろこびだしかしかなしみでもある
いらだちだしかもやすらぎがある
あこがれだそしていかりがかくれている
心のダムにせきとめられ
よどみ渦まきせめぎあい
いまあふれようとする
この気もちはなんだろう
あの空のあの青に手をひたしたい
まだ会ったことのないすべての人と
会ってみたい話してみたい
あしたとあさつてが一度にくるといい
ぼくはもどかしい
地平線のかなたへと歩きつづけた
そのくせこの草の上でじっとしていた
大声でだれかを呼びたい
そのくせひとり黙っていた
この気もちはなんだろう

さんにも^{つた}伝わり^{おも}るといいなと思っています。

健康 しなやかで丈夫な こころとからだをもつ人	共生 思いやりをもち、共に生きる人	自立 自ら学び、考え、行動する人	教育目標
--------------------------------------	-----------------------------	----------------------------	-------------

そのほか、1年生（と転入生）には、今年も特別課題を出します。「第三吾嬬小学校教育目標」です。この課題には、三吾小の全員に合格してほしいと思っています。4月中に合格できるように頑張ってください！
暗唱に合格した人は、毎月はじめにこの暗唱だより「校長室より」で名前を発表します。今年も、たくさんの人に挑戦してほしいと願っています。

4・5月の英語課題は“マクドナルドじいさんの農場”

「イーアイ イーアイ オー！」というのが楽しい英語の歌です。「マクドナルド」というハンバーガー屋さんがありますが、英語の"McDonald's"と日本語の「マクドナルド」は全然ちがう音で、通じない英語の代表です。これを機会に、英語でも通じる言い方を覚えてください。

